

駒沢こもれびプロジェクト

KOMAZAWA Park Quarter 完成



写真撮影 株式会社川澄・小林研二写真事務所 船来洋志



アウトフレームのデッキが街の歩道となる



テナントの一例（カフェ）



エレベーターホールと通路

設計コンセプト

地域・自然と共生するリジェネラティブな商業施設

駒沢大学駅前の国道246号線と自由通りの交差点に、地域に開かれたまちづくりの拠点として構想された商業施設です。都市の自然環境と歩行者中心の公共空間を再生し、地域のコミュニティの場となることを目指しました。

建物が街と一緒になるよう共用部は開放的な半屋外空間とし、すれながら重なり合うスラブがつくりだすオープンエアのテラスが階段や吹抜で上下につながることで、地面から屋上まで全体が街と連続した立体的な散策路となっています。自由通りの勾配を引き込んだビロディと木漏れ日のような陰影をつくる緑化ファサードにより、駅前においても駒沢公園との環境的な連続性が感じられる、緑豊かで心地良い街路空間を創出しました。

この商業施設は17のテナントを地下1階から地上4階並びに屋上へとそぞろ歩けるよう、デッキ部分を街歩道に見立て、各階に緑化を施し天井ルーバーで開けた機能と外観の特徴を併せ持っています。外周から張り出したデッキを見るように、建物は敷地をほぼ使い切っています。周辺は首都高と国道46号、都道の自由通りが交差し、東南側には住宅地も迫る立地において、第一回場内での安全対策に重点を置き、その上でどこから鉄骨建てるかを検討しました。近隣の駒沢公園でイベントが開催される週末は、特に通りが増加します。なにより周辺への環境配慮、現場内での安全対策に重点を置く方を進めるがを検討しました。建物は最大4階建てで、部分的に3階2階を屋上を有しています。地中部分はRC造とし、地上躯体は

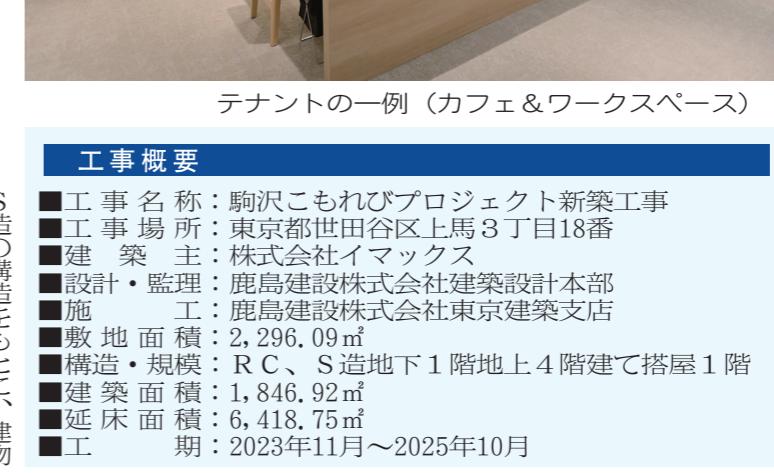
周辺には駒沢公園から地域に点在する緑地や農地を経て国分寺崖線や多摩川に至るエコロジカルネットワークがあり、これらと接続し生物多様性に貢献する環境づくりを行うことでABIN C認証を取得。自然の風や光を活かす建物構成は省エネルギーにも寄与し、B E L S ★ 5認証を取得了。

誰もが気軽に訪れることができ、どこにいても街や自然とのつながりを感じられる公園のような建築は、地域に根差した新しい商業施設のあり方を提案しています。

鹿島建設株式会社 建築設計本部
建築設計統括 グループリーダー

朝田 亮

施工のポイント



テナントの一例（カフェ&ワークスペース）

工事概要

■工事名稱:	駒沢こもれびプロジェクト新築工事
■工事場所:	東京都世田谷区上馬3丁目18番
■建築主:	株式会社イマックス
■設計・監理:	鹿島建設株式会社建築設計本部
■施工:	鹿島建設株式会社東京建築支店
■敷地面積:	2,296.09 m ²
■構造・規模:	R C、S造地下1階地上4階建て塔屋1階
■建築面積:	1,846.92 m ²
■延床面積:	6,418.75 m ²
■工	期: 2023年11月～2025年10月

不動産会社「イマックス」が東京都世田谷区の駒沢駅周辺市線駒沢大学駅前に建設していた駒沢パーククオーター（KOMAZAWA Park Quarter）が完成し、11月11日にグランドオープンした。駒沢こもれびプロジェクトとして同社所有ビル2棟を建替え、緑化されたテラスを備えたアーモール型の複合ビルを計画した。設計・監理を鹿島建設建築設計本部、施設を鹿島建設東京建築支店が担当した。

メッセージ

株式会社イマックス

本プロジェクトは、イマックス創業111年の歴史の中で初めて本格的な自社開発商業施設に挑んだものです。駒沢で生まれ、土地を守り、商いを続けてきた企業として、「貸して終わりではない」「街と共に残るものを作ること」地域共創型のまちづくりです。

駒沢大学駅周辺の「落ち着いて過ごせる場所が少ない」という課題に対し、駒沢オリンピック公園と調和する、人々がつながるコミュニティと心地よい暮らしを提供できる新しい拠点を目指しました。緑豊かな道のような空間を創出し、オープンエアのアウトモールとデザインとしてまちの回遊性を高め、スローでやさしい空気感、たおやかな居心地、くらしを楽しむ、ふだんを楽しむ、駒沢ローカルスタイルの発信基地が実現しました。

パークサイドのような開放的な空間を

テナントは日常の暮らしを豊かにするカフェ、レストラン、バーカー、スーパー、クリニックなど、全17店舗で構成されています。駒沢のローカル店舗や世田谷区内の店舗も誘致することで、地域に根差した個性を加えました。地下を除く各階でドッグフレンドリーを採用し、愛犬とカフェや買物も楽しめるエリアを設けています。開放的な屋上テラスに加え、ピオートープを設置し、自然の循環を感じられる仕組みを取り入れました。

人々の暮らしが交差し、ゆるやかなコミュニティが育つ場を目指し、地域の生活者に愛される「駒沢ローカルスタイル」を発信し、浸透させていく役割を担います。私たちは、この施設を単なる商業施設としてではなく、「駒沢の新しいまちづくりの拠点」として、地域の皆様と共に育てていきたいと考えております。



ビオートープを備えたテラスなど各階を緑化（株式会社川澄・小林研二写真事務所 船来洋志）

暮らしと普段を楽しむローカルスタイル発信

スが東京都世田谷区の駒沢駅周辺市線駒沢大学駅前に建設していた駒沢パーククオーター（KOMAZAWA Park Quarter）が完成し、11月11日にグランドオープンした。駒沢こもれびプロジェクトとして同社所有ビル2棟を建替え、緑化されたテラスを備えたアーモール型の複合ビルを計画した。設計・監理を鹿島建設建築設計本部、施設を鹿島建設東京建築支店が担当した。

不動産会社「イマックス」が東京都世田谷区の駒沢駅周辺市線駒沢大学駅前に建設していた駒沢パーククオーター（KOMAZAWA Park Quarter）が完成し、11月11日にグランドオープンした。駒沢こもれびプロジェクトとして同社所有ビル2棟を建替え、緑化されたテラスを備えたアーモール型の複合ビルを計画した。設計・監理を鹿島建設建築設計本部、施設を鹿島建設東京建築支店